

**中学校のバスケットボールのバックボードの高さや
リングの高さをボールを使って体感する**

リングの高さは、小学校までは、2m60cmですが、中学校からは、一般大人そしてプロのバスケット競技まで3m05cmとなっています。今日は40cm以上の差を感じてほしいと思います。では、中学校では、ラジオ体操が準備運動になりますので、ラジオ体操から始めます。

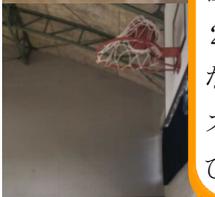


ラジオ体操の様子



まずは下から、リングの直径45cm。ボールの直径約23cm。入るはずが、なかなか入らない。その点もバスケットボールの楽しさのひとつだね。

たくさん入っている人の特徴はどなたところかな？膝の曲げ伸ばしと、肘の使い方を工夫してよ〜くねらってシュートしてね



次にドリブルシュート。決まった時間で何本入るかな？

よ〜く見て。バックボードにシュートが入りやすいマークがついているよ。そこをねらってドリブルシュート！！

まずはセットシュート
ナイスシュート！！

終了！！の声と同時に、いくつかのグループから歓声が上がった。終了ブザーがなった時にすでにボールが手から離れていたボールが入った。それは「ブザービート」と言われ、チームの得点になります。ナイスシュート！！あきらめずにみんな頑張れたね。の話を聞いて児童は感心していた。

ドリブルシュートゲーム終了後、チームごとに得点ポイントを発表し、授業前半よりもどのチームもシュート力が向上したことや、互いに励ましたり喜び合ったりしたことに、2つの小学生全員が拍手でたたえ合っていた。

一人一人の技術の向上と共にチーム同士でシュートゲームに挑戦する中でチーム内に試行錯誤が生まれた。会場内のいたる所からナイスシュートの声が増えて全員が夢中で取り組んでいた。

